

H26年第3回自立支援協議会議事録

日時 平成27年2月4日午後13時30分から

場所 利根町役場5-A会議室

出席者 11名

計画相談支援事業の進捗状況について

平成27年1月相談支援開始（新規・変更申請）3件

障害福祉サービス利用者91名（平成27年1月31日現在）

計画相談支援支給決定済者83名

議 事

1. 北関東ブロック研修大会パネルディスカッション「障害者相談支援専門員とは」を終えて

【委員】

平成26年12月14日に開催された北関東ブロック研修大会内において「障害者相談支援専門員とは」と題しパネルディスカッションを行い、障害者相談支援についての全体的な流れや障害福祉サービスと介護保険サービスとの違い、障害者相談支援専門員と介護支援専門員の資格取得要件、計画相談の現状や市町村ごとの事例の判断差について現場で感じること、また、障害者相談支援専門員の必要性について説明したことを報告される。

報告を受けての質疑等

・どの程度の人数が集まったか

→【委員】パネルディスカッション1と2があり、1は約200人、2が約40人参加した。

・参加者からの質疑等はあったか

→【委員】65歳を超えた障害のある方に対するプランの難しさについて、介護保険サービスが優先になるため、65歳未満の方は自立支援法では自己負担額が0円だが、65歳になり介護保険サービスに移行されることにより自己負担が発生してしまうことから、制度が付いていけないのではないかといった意見があった。

・サービスの移行に伴って発生した問題について市町村任せになっているがどうか

→【事務局】利用者から65歳になったら介護保険サービスに切り替えるしかないのかとの質問については、併給調整を行ったものが1件あり、県の事務連絡にそって対応している。

2. 利根町障害者基本計画及び第4期障害福祉計画のパブリックコメントの結果について

【事務局】

○前回の自立支援協議会にて諮問し協議した計画(案)について、平成26年12月25日から平成27年1月26日までホームページに広く民意を聞くために掲載した。

・特に意見が出なかったため、結果を踏まえ原案を策定委員会に報告し、決定となった。

3. 第2回自立支援協議会での懸案事項について 質疑応答

・「障害者相談支援専門員部会」に係る調査について

→【委員】日立市の自立支援協議会に参加している相談支援事業所に伺ったところ、専門部会として約2ヶ月に1回、1時間から2時間ほど実施し、制度の変更内容の説明や情報提供、ケース検討等を行っている。また、新事業所も増えてきたため、どこの事業所を利用しても統一したサービスを提供できるよう情報の共有化を図っている。

→【事務局】日立市の自立支援協議会では全体会として年3回、幹事会6回を定期的に行っている。その中で、専門部会として地域生活部会年1回、相談支援部会年3回、子ども部会3回、計画部会6回を実施。各障害関係に別れて相談や協議を行っている。

・防災マニュアルの予算について

→【福祉課長より】予算が確保できない状況にある旨の説明であった。

【事務局】

課題等の協議

・計画相談の進捗状況について

→当町のサービス受給者は91名。現在8名の計画相談が未決定だが、3月末までには全て完了する予定。

・相談支援部会の立ち上げについて

→立ち上げる方向で進んでいる。

・成年後見人制度の利用促進や説明会などの取り組み

→制度を利用するに当たって資金面で利用が困難な方に対し支援する事業を行っている。説明会については、第4次障害者計画の中で進める。

4. 事務局より連絡

・今年度末で委員の任期が終了する旨の説明があった。

次回の懸案事項について

・自立支援法から介護保険サービスへの移行に伴って発生する問題の調整について

・障害者相談支援専門員と介護支援専門員の調整事務について